

# 海上防災

千葉港及び木更津港には、多数の石油コンビナートが存在することから、油の大量流出や有害・液体物質の海上漏洩、臨海施設の火災等、大規模な災害発生が懸念されます。

これら海上災害に的確に対応するため、千葉海上保安部では、関係行政機関や民間企業と合同で防災訓練を実施し、災害発生時の対応能力向上を図っています。

また、平成9年7月、東京湾で発生した「ダイヤモンドグレース号」の座礁・油流出事故を踏まえ、各自治体、関係行政機関及び民間企業等との間で、千葉(船橋を含む)・木更津・館山の各管内に、「排出油等防除協議会」を設立し、定期的な訓練及び研修会を実施することで、災害対応にかかる連携強化を図っています。

さらに能登半島地震等自然災害が全国で頻発していることから、自然災害への備えとして自治体や関係機関との給水支援訓練や物資輸送訓練等の生活支援訓練を実施しています。



【東日本大震災における臨海部施設の消火活動】



【巡視艇による油防除訓練の様子】



【関係機関との物資輸送訓練及び給水支援訓練の様子】